

歴代のアメリカ大統領の動機プロフィール

	達成欲求	親和欲求	権力欲求	権力－親和
T. ルーズベルト	56	45	63	+18
タフト	35	39	33	-6
ウィルソン	43	41	49	+8
ハーディング	40	48	41	-7
クーリッジ	38	42	38	-4
フーバー	47	45	38	-7
F. D. ルーズベルト	52	40	54	+14
トルーマン	47	41	59	+8
アイゼンハワー	41	55	43	-12
ケネディ	58	58	63	+5
ジョンソン	61	45	56	+11
ニクソン	64	58	48	-10
フォード	40	80	46	-34
カーター	63	53	51	-2
レーガン	62	50	67	+17

強いと思われる大統領

効果的でないと思われる大統領

(Winter & Stewart)

歴代のアメリカ大統領の分析から

T. ルーズベルト、ウィルソン、トルーマン、ケネディ、ジョンソン、レーガン

名声が高い。行動力、決断力がある大統領。
権力欲求が、親和欲求に比べて高い。

ハーディング、クーリッジ、フォード

「イマイチ」の大統領。
権力欲求が低いか、権力欲求に比べ親和欲求が高い。

フーバー、ニクソン、カーター

個人としての能力は高いが、周りを動かすのが下手でいまいちの大統領。
達成欲求は高いが、権力欲求が相対的に低い。